

便利なもの



利用者にとって公共交通は、移動時間を勉強や読書などに有効活用でき、運転による事故を無くすることができるメリットがある他、自家用車に比べて排気ガスが少なく、環境の負荷軽減などにも

効果があります。

ここでは、それぞれの乗り物の特徴などについて、交通事業者の皆さんに話を聞きました。



お手頃料金で運行 路線バス

路線バスは、町内・町外問わず広いエリアで運行しており、いろいろな場所へ行くことができます。時刻表が決まっているため、予定が立てやすく、町内移動にも便利な乗り物です。

地域に寄り添った交通を

学生や高齢者、自家用車を持たない方など、利用者のニーズに合わせた運行を目指し、日々運行しています。今後も地域に寄り添った交通となるよう努めていきます。



道南バス(株)倶知安営業所
所長 藤原 堅次さん

遠出も楽ちん！ 鉄道

鉄道は、自分では運転が大変な長距離移動に便利な乗り物です。一度に多くの人を乗せることができ、通学や通勤でよく利用されています。今後、町内では新幹線の開業も控えています。

チームワークで安全運行

この地域一帯の運行を担う倶知安駅では、運転士以外にも多くの方が運行に関わっています。利用者の安全第一のため、日頃からチームワークを大切に運行していきます。



北海道旅客鉄道(株)倶知安駅
駅長 岩谷 誉仁さん

行き先は自由自在 タクシー

タクシーは、時間や乗降場所、ルートなどが、利用者の希望に応じて柔軟に対応できる便利な乗り物です。買い物や通院など、日常でもよく利用されています。

一人一人とコミュニケーション

少人数の乗車となるため、利用者一人一人とのコミュニケーションを大切にしています。地域密着の乗り物として、たくさんの方に利用していただきたいです。



ニセコ国際交通(株)本社営業所
所長 山口 勇人さん
(写真中央)

特集

利用しよう！ 暮らしを支える公共交通



移動手段には
たくさん選択肢が

「自動車」「バス」「鉄道」「タクシー」「自転車」「徒歩」
外出する際に、私たちが利用する移動手段には、さまざまなものがありますが、皆さんがよく利用するものは何でしょうか。

買い物や通勤・通学など、日常の移動手段として多くの人に利用されている公共交通。
倶知安町内では、路線バスやタクシー、鉄道などが運行し、それぞれの特性を生かして私たちの暮らしを支えており、今後も北海道新幹線倶知安駅の開業が控えるなど、私たちが移動する際の選択肢は、ますます広がっていきます。

「クルマ社会」や「人口減少」で利用者数は減少

「クルマ社会」と呼ばれる現代では、都市部など一部地域を除いて自家用車の利用が増えている他、人口減少や少子高齢化の進展もあり、公共交通の利用者数は減少傾向にあります。

利用者が減ると、事業者にとっては路線の維持などが難しくなります。その結果、運行本数や台数が減り、場合によっては運行自体をやめることもあるため、必要な公共交通サービスを受けられない地域・住民が増えるなど、私たちの生活に大きな影響が出てきます。

地域の足を
維持するために

現在は自家用車を利用し、公共交通の必要性をあまり感じていないという方でも、病気やケガ、高齢による運転免許の自主返納などにより、自らの移動が困難となるかもしれません。
そのような状況になった時に公共交通の必要性を感じ、利用したいと思っても、今のように充実していなければ、日常生活で不便な思いをすることでしょう。

将来にわたり公共交通を維持するためにも、これからお出かけする時は自家用車と公共交通をうまく使い分けるなど、普段から公共交通を利用してみませんか。

これらの他に町内で運行する公共交通には、「くつちゃんまちなか巡回バス」「じゃがりん号」があります。

じゃがりん号は運行開始以来、多くの住民に利用され、特に市街地地域に暮らす住民にとっては、生活に欠かせない移動手段となっています。

しかし、じゃがりん号が運行していない郊外地域においては、路線バスの本数が限られていたり、自宅と路線バス停留所との距離が遠く利用が難しかったりするなどの理由から、交通手段に困っている方もいるため、それらの地域における交通状況の改善は町の課題でした。

そのため、町では今年度、じゃがりん号が運行していない地域で路線バスの運行本数も限られるなど、公共交通が不足する郊外地域の方を対象とした「デマンドバス導入に向けた実証運行事業（通称・じゃがたく実証運行事業）」を夏季・冬季にそれぞれ1カ月間実施します。

次の6・7ページでは、その内容について紹介します。

郊外地域のためのデマンドバス

じゃがたく 実証運行

町では郊外の一部地域において、8月23日(月)～9月22日(水)までの期間「デマンドバス導入に向けた実証運行事業(通称:じゃがたく実証運行事業)」を行います。
ここでは、その内容や利用方法などを紹介します。

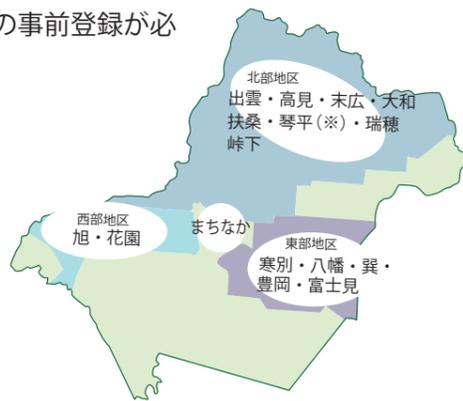
- 実証運行期間／8月23日(月)～9月22日(水)まで(土日祝日も運行)
- 運行時間／8時～16時
- 利用料／1乗車100円(実証運行限定)

じゃがりん号と違うの？

じゃがりん号と違うのは、「予約制」と「時刻表・運行ルートがない」点です。「予約制」で乗車人数が把握できるため、満員で乗れないということがありません。また、「時刻表と運行ルートがない」ため、利用者宅と目的地の間を最短ルートで運行します。ただし、じゃがりん号と同じで乗り合いバスのため、予約が重なった際には、他の利用者宅や目的地を経由する場合があります。

誰が利用できる？

利用対象者は右図の地区の居住者で、利用には役場への事前登録が必要です。学生の通学のための利用はできませんが、休日などに部活動へ行くための利用はできます。(学校に直接行くことはできません)



※宇琴平地区は国道5号線より北東側の地区のみ対象

どこに行ける？

利用者宅から以下の役場や駅、医療機関、商業施設に行くことができます。帰宅時は、同施設のじゃがりん号停留所から乗車できます。

施設名(じゃがりん号停留所名)
絵本館・あづま眼科
くとさん外科
厚生病院
さとう内科
ニセコ脳神経外科
公民館・ようていクリニック
生協・白樺会内科クリニック
ホームック
マックスバリュ
ラッキー倶知安店
倶知安町役場
ホテルようてい
まちの駅ぷらっと
郵便局
JR 倶知安駅

利用するには？

名前・住所・電話番号などを事前登録した方なら、利用日の前日(予約は平日のみ)17時までに総合政策課交通政策係(☎56-8001)へ電話して①字名②名前③利用日④希望到着時刻⑤出発地と目的地を伝えます。

電話予約のやり方

「八幡^①」の「佐藤^②」です。「8月23日^③」の「9時まで^④」に「自宅から厚生病院まで^⑤」行きたいです。帰りは「役場^⑤」から乗車して、「12時ころ^④」に「自宅^⑤」に到着したいです。

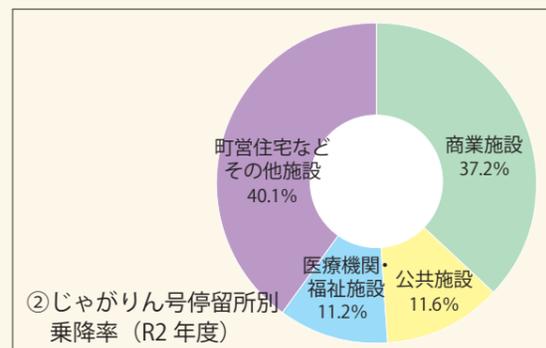
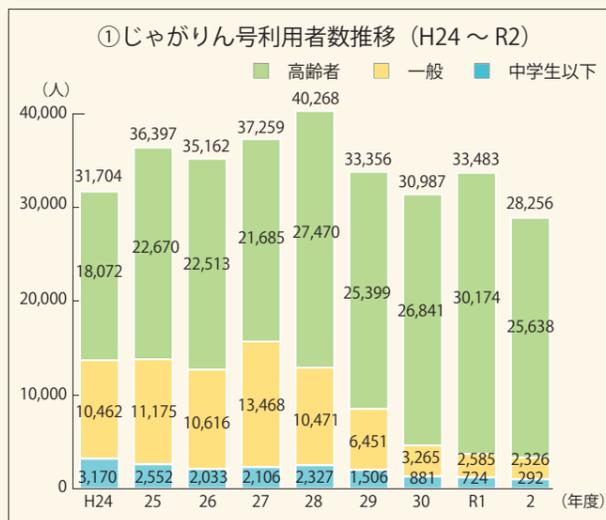
利用前日(平日のみ)にお迎え予定時間の連絡が来ますので、当日は玄関先など車両が見える位置でお待ちください。

くっちゃんまちなか循環バス



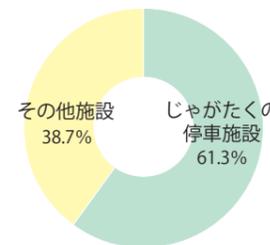
くっちゃんまちなか循環バス「じゃがりん号」は、平成21年10月に実証運行を開始し、平成24年から通年運行を行っています。

市街地地域の東西・南北2ルートで運行し、役場や駅、医療機関、商業施設など、多くの方が利用する施設を巡回しています。



じゃがりん号の利用者は年間3万～4万人で、高齢者に多く利用されています。(グラフ①) 乗降数は商業施設が一番多く、次いで公共施設、医療機関・福祉施設となっています。(グラフ②)

じゃがたくの停車施設では、じゃがりん号利用者の約6割が降車しています。(右グラフ)



さまざまな公共交通が運行している倶知安町で暮らす私たちは、公共交通があることを当たり前に感じてしまい、その必要性を認識しにくいかもしれません。しかし、公共交通が充実していない地域においては、交通手段がないため、買い物や通学・通院などで困っている方がいます。自家用車の普及やコロナ禍の影響で公共交通の利用者数は減少傾向にあり、路線廃止や運行本数が減ったといったニュースを目にすることもあります。これから先も「地域の足」として、私たちの暮らしを支える公共交通を維持していくためには、私たちが普段から「利用すること」が大切です。この機会にあらためて、公共交通をよく利用している方も、そうでない方も、その利用について考えてみてはいかがでしょうか。